



応用情報技術者試験

にチャレンジする



- ★ 関連キーワード
- 情報処理技術者
 - 情報システム
 - ネットワーク

「Paste (ぱすて)」とは？

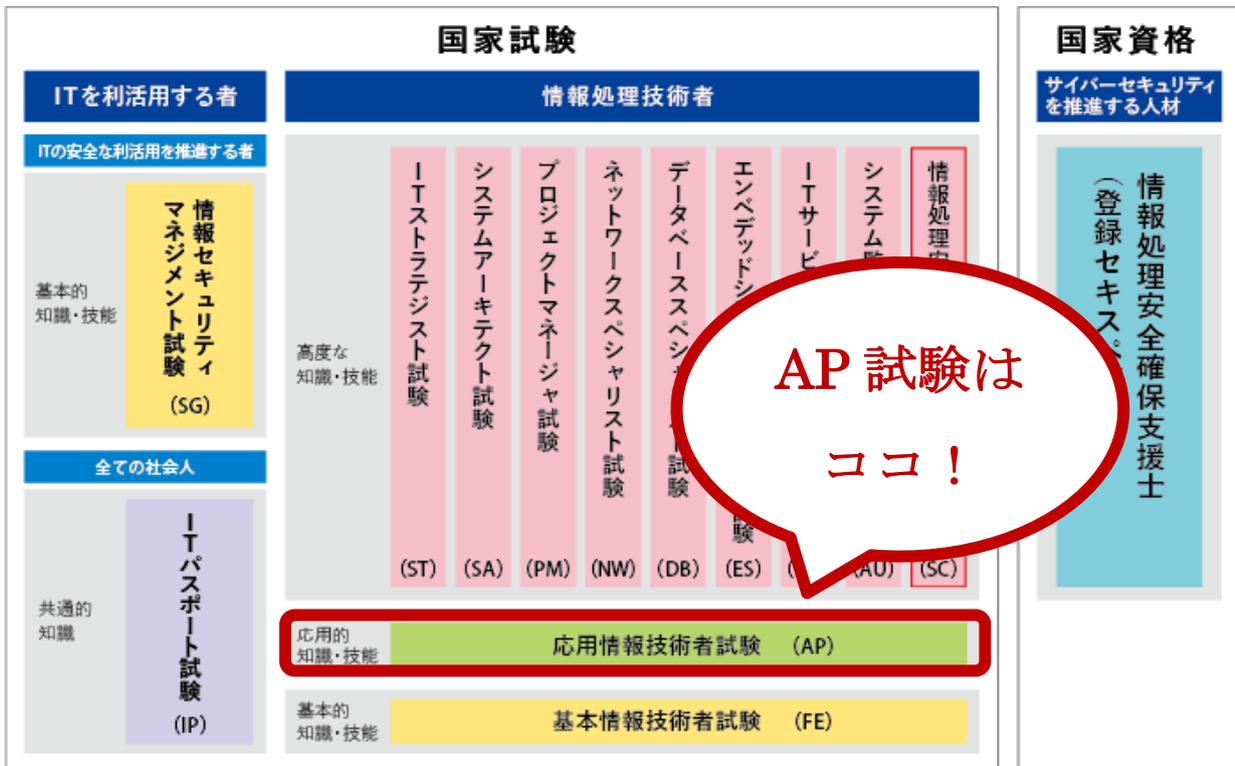
ぱっと分かって、すっと頭に入る、テーマ別調べ方ガイドです。みなさんの学習をサポートする、総合図書館ラーニング・サポーター（LS）による作成です。レポート作成の際などにお役立てください

1. イントロダクション

1-1. 「応用情報技術者試験」とは？

「応用情報技術者試験(Applied Information Technology Engineer Examination. 以下、AP 試験とする)」は、独立行政法人情報処理機構(Information-technology Promotion Agency. 以下 IPA とする)が実施する「情報処理技術者試験」の1つで、国家資格として定められています(下図参照)。中でも AP 試験は情報処理技術者試験のレベル 3 に該当し、本試験をパスできれば IT を活用したサービスや製品、システム構築に必要な応用的知識・技能を持ち、高度 IT 人材としての方向性を確立した者であることを証明することができます。

IPA の Web サイトから引用(<https://www.ipa.go.jp/shiken/kubun/list.html>)



AP 試験の合格率は約 23 % (直近 5 年の結果 [1]) であり、その難易度の高さにはいくつか理由が挙げられます。第 1 に出題範囲の広さです。具体的にはシステム開発やネットワーク、セキュリティなどのテクノロジー分野と、プロジェクト進行やサービス運用、システム監査などのマネジメント分野、さらに法務・経営やシステム戦略などのストラテジー分野まで、幅広いテーマを扱います。第 2 に AP 試験の合格には午前午後の両方の問題に合格する必要がある点です。午前は多肢選択式問題、午後は記述式問題で、本試験に合格するにはともに 60 % 以上の得点率が必要です。

このように難易度の高さから避けられがちな AP 試験ですが、IT・プログラミング未経験者がノーチャンスかと言われれば、一概にそうとは言えません。むしろ基礎的な IT 知識 + 読解力があれば、誰でも合格することは可能です。(私も IT 未経験の物理系の学生でした…)是非、時間に余裕がある学生時代に AP 試験を挑戦してみてください。ここではその一助になれば幸いです。

[1] IPA の統計情報 (<https://www.ipa.go.jp/shiken/reports/toukei.html>)

1-2. 「応用情報技術者試験」の資格を取得するメリット

① 網羅的かつ応用的なITスキルを持っていることを証明できる！

➡ AP 試験は情報処理技術者試験の中では、難易度と網羅性の両方を兼ね備えた試験です。勉強を進めていく中で IT 全般の知識を広く網羅できる上に、分野ごとの専門性も深く磨くことができます。

② 就職活動や転職活動で評価されやすい！

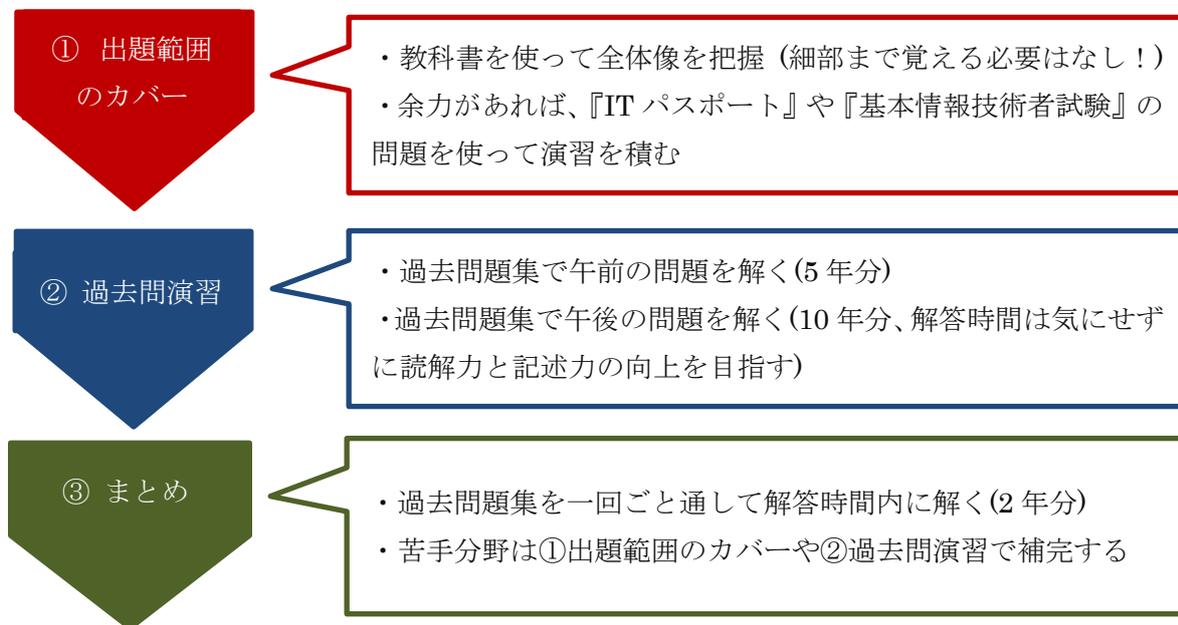
➡ 近年、IT 業界を問わず様々な業界で情報技術の需要が高まっています。AP 試験の資格を有していれば、どのような業界においても自分自身の市場価値を高めることができ、就職活動や転職活動に役立てることができます。

他にも上位の資格に挑戦する際に一部試験が免除される優遇や、企業によっては昇級制度における必要項目として採用する事例もあり、取得するメリットは大いにあることが分かります。

1-3. 学習の流れ

実際に IT 初学者が AP 試験を合格するために必要な学習時間は約 500 時間であると言われています [2]。そこで効率よく学習を進めるために、IT 初学者が合格するまでに必要な学習の大まかな流れを以下の通りに紹介します。

[2] 資格の学校 TAC (https://www.tac-school.co.jp/kouza_joho/joho_ap/ap_study_method.html)



以上を 2 : 6 : 2 の量で進めていくのが王道です (IT 経験の有無などで個人差はあります)。出題範囲が非常に広いので、工夫して効率よく学習を進めていくことが大切です。午前と午後の問題を解く上でのポイントは次節『1-4. 学習するにあたってのポイント』で後述します。

1-4. 学習するにあたってのポイント

・「午前の問題」

午前の問題は多肢選択式の記号問題です。ポイントとしては、午前の問題は出題範囲が広いものの、出題される問題の約4割がこれまでに実施した問題から流用されているという点です。間違えた問題は必ず正解できるようにしておくことで、比較的早く合格点まで到達することが可能です。

・「午後の問題」

午後の問題の出題形式としては11テーマから5テーマを選ぶ形式で、具体的には1問目のセキュリティが必答で、残りの10問の中から4問を選択して解答します。各テーマについての問題文を読み、20～40字の記述問題やキーワードを正確に解答する問題のように、基本的なIT知識と読解力、記述力を同時に求められます。このように高いレベルが求められる問題に対して11テーマ全てを仕上げるのは現実的ではありません。そこで事前に自分が解くテーマを6,7問選んでおいて集中的に学習し、当日は解きやすそうな問題を選択することがお勧めです。(私も6テーマを集中して対策しました。)

2. 学習用資料

ここではAP試験の受験者の多くが使用してきた資料を紹介しますが、まずは自分自身のレベルや使いやすさに合った資料を選択することが重要です。また紙媒体の教科書と参考書に関しては、年に1回改訂されるものが多いので、自分が受ける年度の最新の参考書を入手することをお勧めします。(ここでは年度や時期についてではなく、シリーズとして紹介させていただきます。)

2-1. 教科書

最終的な目標は過去問を時間内にかつ正確に解けることですが、まずは教科書を使って出題範囲の基礎的な知識を固めることから始めましょう。その際、教科書の内容を隅から隅まで覚える必要はなく、どこに何が書かれていたかを把握して過去問演習で分からない部分はいつでも参照できるようにしておくことがお勧めです。

■ キタミ式イラストIT塾 応用情報技術者 / きたみ りゅうじ著

イラスト中心の説明が基本でIT知識に自信がない人でも楽しくスムーズに学習することが可能です。また網羅性が高く、内容も充実しているので、辞書的に使用することも可能です。非常に厚みがあるので持ち運びするのは難しいですが、一冊持つておくと安心です。

【書誌ID=2004567761】総合図-B棟2階LS選書007.6||KIT||2023

■ 応用情報技術者教科書 / 瀬戸美月著

上記のキタミ式との違いは教科書的な解説の随所に小さな例題や章ごとに演習問題が用意されているという点です。解説だけでなく、実際に演習力も高めたいという方にはお勧めの教科書です。

【書誌ID=2004534291】理工学図-東館1Fキャリア支援図書007.6||SET||2022

2-2. 過去問題集

教科書で基礎を固めたら、すぐに過去問を使って演習しましょう。過去問は難しいものが多いので、繰り返し解くことが重要です。

- 応用情報技術者 パーフェクラーニング過去問題集(情報処理技術者試験) / 加藤昭・矢野龍王・高見澤秀著

直近の過去問 4 回分+直近 4 回分以前の 20 回分が収録された集録問題数 No.1 の過去問題集です。実践的に過去問演習を積むことができ、繰り返してやりこむには最適の一冊です。

- 応用情報技術者 午後問題の重点対策 / 小口達夫

午後の記述式問題に特化した過去問題集です。分かりやすく丁寧な解説に加えて、記述問題の得点を上げるために使えるテクニックや、各分野の要点が簡潔にまとめられたキーワード集など実用性の高い演習書です。

【書誌 ID=2004534323】理工学図-東館 1F キャリア支援図書 007.6||KOG||2022

2-3. 最新情報が確認できる資料

AP 試験を受ける上で、どんな受験者にもおすすめのサイトを二つ紹介いたします。

- 独立行政法人 情報処理推進機構 (<https://www.ipa.go.jp/>)

情報処理技術者試験を実施している情報処理推進機構(IPA)の公式 Web サイトです。試験要綱やシラバスを確認することができ、受験の申し込みの手続きを行うことができます。また最新の過去問とその解答例についても確認できます。

- 応用情報技術者試験ドットコム(<https://www.ap-siken.com/>)

『過去問道場』と呼ばれる完全解説付き Web 問題集では、隙間時間を使った演習や間違えた問題の効率よい復習をすることができます。また AP 試験の試験要綱がまとめられていて、時間のない人でも要点をすぐに確認できる実用的なサイトです。

2-4. その他参考になるツール

- 基本情報技術者試験/ IT パスポートの教科書・過去問

基本情報技術者試験と IT パスポートは同じく情報処理技術者試験仲間で、それぞれレベル 2、レベル 1 にあたる試験です。AP 試験の勉強で苦手意識がある方はワンランク・ツーランク下の試験の参考書や過去問題集でウォーミングアップしておくともよいかもしれません。

- プログラミング言語を使って遊んでみる

AP 試験でプログラミングの書き方を直接問われることはほぼありませんが、プログラミングの理解が IT 知識の向上につながります。Google アカウントさえ持っていれば、簡単に python を触れる Google Colab (<https://colab.research.google.com/?hl=ja>)など、環境構築なしにプログラミング言語で

遊ぶことができるものも存在します。

本文中で紹介している図書・雑誌について

図書名・雑誌名の後ろに「書誌 ID」(10桁の数字)の記載があるものは大阪大学で所蔵しています。この10桁の数字で大阪大学 OPAC(蔵書検索システム)が検索できます。

